



集団の高まりの中で自分を鍛え、一人でも頑張れる自分に！

～「3つのC(チャンス・チャレンジ・チェンジ)」と「温かい言葉」で成長できる学校～

本校は10月9日に前期終業式、13日に後期始業式を行いました。節目となるそれぞれの式で、生徒に向けてこんな話をしました。

(前期終業式の話の要約)

4月から「誰もが安心して力を発揮できる学校」を目標に取り組んできました。この節目に、改めてこの目標について考えていた時に、生徒会選挙立会演説会で1年生の〇〇君が語ってくれていた公約が思い浮かびました。彼はこう語ってくれました。

「僕は誰もが安心して挑戦しやすい一中にします。僕たちは小さな挑戦を毎日繰り返しています。学校に来る、宿題をする、自分の係の役割をする…、といったことです。『やりたくないな』と思う自分もいます。でもそんな自分に負けずに『やるぞ！』と挑戦しています。『あと少し…』『あと一問…』と挑戦しているのです。もしかしたら努力という言葉かもしれません。僕はそんな挑戦を堂々と人の前でもできる一中にしていきたいです。挑戦できる一中をめざして温かい言葉を増やしていきたいです。『ありがとう』『すごいね』『私も頑張ってみよう』など、そんな温かい言葉が飛び交い、お互いに受け止められる一中ならば、誰もが挑戦し、成長できると思います。」

この〇〇君の言葉にあるように、あたたかい言葉が飛び交う学校ならば、だれもが進んで挑戦し、新たな自分に成長できるようになると思います。3つのC(チャンス・チャレンジ・チェンジ)プラス、仲間からの温かい言葉で、一人ひとりが成長していったほしいと願っています。

(後期始業式の話の要約)

もうすぐ体育祭がありますが、わたしはこんな風に考えています。「体育祭の成功のために一人ひとりがいる」「一人ひとりの成長の為に体育祭はある」…合唱祭も同じです。体育祭も合唱祭も集団がひとつの目標に向かって頑張っていきます。そこには一人ひとりの力が必要です。そして、行事を通して集団として高まっていくその先に一人ひとりの成長があります。後期のゴールには、3年生は進学、1、2年生は進級が待っています。いろんな壁があるかもしれませんが、でも、粘り強く、そして、しなやかさをもって「一人でも頑張れる自分」を作り上げ、壁を乗り越え、大きく成長していく姿を期待しています。

一人でも頑張れる自分作りを後期の柱の一つにして取り組んでいきます。先日2年生の職場体験でもそんな姿がたくさんみられました。たった2日間でしたが、生徒一人ひとりにとっては社会に出て通用する力を身に付けるとても貴重な機会となりました。

保護者や地域の皆様には、それぞれの立場で「一人でも頑張る一中生の姿」を応援していただければと思います。



【お知らせ】学校の様子は下記 URL の学校ホームページでも随時紹介していきます。ぜひご覧ください。

(https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/soshikikarasagasu/school/daiichi_jhs/index.html)

